

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

2・3破防法とたたかう国民大集会



戦争と暗黒の道= 破防法を粉碎しよう

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

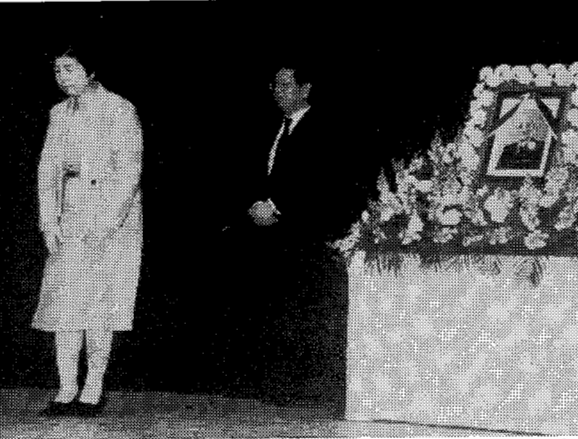
各界の多くの人士のよびかけによる集会は熱気あふれる大成功をかちとった。

代議士・山本宣治（ヤマセン）の生涯をえがいたこの映画は、今日の戦争前夜的情況、治安維持法の現代版たる「破防法」の発動が現実化せんとする情況と重なり合い、全参加者に深い感銘をあたえた。

第二部の冒頭、呼びかけ人であり、戦前・戦後を通じて治安維持法・破防法と闘ってこられた美濃部亮吉氏の冥福をいのり全員で黙禱を捧げた。

浅田光輝破防法裁判闘争を支える会世話人の一人類の最大の破壊活動は戦争だ。これを阻止するため破防法を粉碎しよう」との開会の辞をうけ、各界からの発言に入った。

最初に立った山花秀雄元衆議院議員は、自ら一九二七年「人民戦線事件」で治安維持法で投獄された経験にふまえ「民主主義を守るため全国で破防法粉碎の運動を大きくつくり出そう」と切実に訴えられた。沖繩民権の会代表の古波津英興氏は「沖繩返還闘争をめぐり行なわれているこの破防法裁判でさばかれるべきは反動佐藤政権だ。沖繩の全人民の名で断固闘う」と述べられた。榎枝元文前総評議長は、日教組委員長としてストを指導したことに對し、不当逮捕され起訴され闘ってきた自らの経験にふまえて「民主主義を破壊するこの悪法粉碎へ共に闘う」と決意を明らかにされ、長谷川英憲杉並区議も「中曽根の戦後政治の総決算攻撃の要がこの破防法攻撃だ。反戦・反中曽根をかかげ、都議選に立って闘う」と決意を表明された。反対同盟北原事務局長は「東峰十字路裁判での反動求刑は三里塚解体攻撃であり、破防法の先取り攻撃だ。20年



故亮吉氏の遺影を前に、「悪法粉碎」を訴えられる美濃部夫人。

各界人士より 熱烈な訴え

集会は新谷のり子さんの司会のもと、午前10時より第一部「映画「武器なき闘い」の上映で始った。第二次帝国主義世界戦争前夜、労働運動・農民運動をはじめ自由や平和を求める全ての運動が大弾圧の嵐にさらされた。そのほとんどが屈服する中で治安維持法に反対して闘い続け、右翼の白色テロにたおれた労働党

「2・3破防法とたたかう国民大集会」に21000名

2月3日「2・3破防法とたたかう国民大集会」が東京・中央会館で開催された。故美濃部亮吉氏、反対同盟北原鉞治氏、動労千葉中野委員長らの呼びかけで開催された集會には労働者・市民二〇〇〇名が結集、動労千葉も支部より六〇名が参加した。

の闘いの原則を守り断固闘う」と述べられた。元総評議長市川誠氏は「平和は守るものではなく闘いとるものだ。破防法被告を支え、破防法粉碎へ闘いぬく」と固い決意を明らかにされた。



飛鳥田一雄 前社会党委員長



星野安三郎 立正大教授

飛鳥田一雄氏、星野安三郎氏が講演

憲法九条を歌って「発禁処分」をうけた歌手の稲村一志氏の歌で第三部「講演」に入った。前社会党委員長飛鳥田一雄氏は「今日、戦争前夜情勢のもとで、管理ファシズムの体制がつくりあげられつつある。闘う時は今だ。反対を呼ぶのみではだめだ。『見えて、さわられて、匂いをかげる』そんな具体的な大衆的闘いを起こそう。破防法粉碎の全国的運動をまき起こすことこそファシズムと戦争を阻止する道だ」と熱っぽく訴えられた。



破防法弁護団・葉山岳夫氏

立正大教授・憲法学者の星野安三郎氏も「言論・思想の自由を守り、平和と民主主義を守るため立ち上がろう」と訴えられた。

第4部は、破防法弁護団・葉山岳夫氏の報告とあいさつのち、69年4・28沖繩闘争破防法被告藤原慶久氏、青木忠氏、久保井拓三氏の3氏よりそれぞれ「破防法との闘いは戦争と侵略との闘いだ。この裁判自体が破防法的やり方であるが、それは敵のあせりだ。この悪法を徹底的に暴き、粉碎のためいかなる弾圧にも屈せず闘う。全人民の力で3・4有罪判決策動をほうむろう」との決意をうけ、全参加者が運動を盛り上げていくことを誓って成功裡に終了した。



榎枝元文・前総評議長

2・16労働学校21回講座

日時・2月16日(土)13時〜17時 場所・動力車会館  
講師・東京大学教授 田中 学 氏  
テーマ・『戦争の前夜―一九三〇年代』(仮題)